

境小学校閉校記念

# 花 立

境小学校閉校準備委員会





# 校歌

作詞 小原沢一夫  
作曲 小川晃平

一 流れゆたかな那珂川を  
のぞむ八溝のそのふもと  
朝の光に輝いて  
きよくそびえる学舎は  
その名もゆかし境小

二 春の若葉や夏の水  
秋のもみじよ冬の雪  
やさし自然のこの里に  
つよく明るく伸びてゆく  
その名もしたし境小

三 澄んだひとみに澄める空  
若い希望の開く窓  
友といそしむこの丘に  
愛と平和を告げる鳥  
その名もわれら境小



## 学校教育目標

「豊かな感性をはぐくみ、実践力のある子の育成」

自ら学ぶ子・ねばり強い子・思いやりのある子

## 境小学校の歩み

- |              |                             |            |                                    |
|--------------|-----------------------------|------------|------------------------------------|
| 明治 6 年 5 月   | 下境小学校が成美学校として創立される。         | 60 年 10 月  | 東校舎（屋根・北側窓・外壁面）を改修する。              |
| 7 年          | 上境小学校が創立される。                | 61 年 10 月  | 東校舎（理科室、図書室）、西校舎（玄関、校長室、保健室）を改修する。 |
| 29 年 10 月    | 小原沢分教場を設置する。                | 62 年 11 月  | 水洗便所に改修する。                         |
| 44 年 6 月     | 小原沢分教場を廃止する。                | 平成 2 年 3 月 | 給食配膳室を設置する。                        |
| 大正 15 年 4 月  | 小原沢分教場を再び設置する。              | 3 年 9 月    | 東校舎 2 階廊下に流し台を設置する。                |
| 昭和 33 年 10 月 | 上境小学校と下境小学校が統合し、境小学校となる。    | 6 年 3 月    | 体育館の緞帳を新調する。                       |
| 34 年 10 月    | 全校舎落成する。                    | 6 年 6 月    | プールサイドを改修する。                       |
| 35 年 5 月     | 完全給食が始まる。                   | 8 年 8 月    | パーソナルコンピューターを設置する。                 |
| 36 年 9 月     | 池が生井清一氏より寄贈される。             | 8 年 12 月   | 体育館屋根を塗装修繕する。                      |
| 37 年 1 月     | 校章・校歌を制定する。                 | 12 年 1 月   | プールを全面塗装改修する。                      |
| 37 年 2 月     | 国旗掲揚塔が平野哲衛氏より寄贈される。         | 13 年 11 月  | 火災報知器を新調する。                        |
| 37 年 3 月     | 校旗が大木清氏より寄贈される。             | 14 年 3 月   | 体育館に物置を設置する。                       |
| 40 年 10 月    | 校庭を整備し、遊具を設置する。             | 15 年 8 月   | 音楽室にピアノを購入する。                      |
| 41 年 3 月     | 小原沢分校を廃止する。                 |            | 教室の黒板を張り替える。                       |
|              | 校庭西側の土手の緑化が P T A によって行われる。 |            | ブランコを新設する。                         |
| 42 年 12 月    | 校舎裏にスケート場が P T A によって整備される。 | 16 年 8 月   | 保健室前に手洗い場を設置する。                    |
| 46 年 8 月     | プールが完成する。                   |            | 高鉄棒を増設する。                          |
| 48 年 2 月     | 体育館が落成する。                   | 17 年 3 月   | 水道管を整備する。                          |
| 53 年 5 月     | アヒルを飼い始める。                  | 17 年 10 月  | 2 町合併により那須烏山市立境小学校となる。             |
| 55 年 8 月     | 特別教室を改修する。                  | 20 年 3 月   | 閉校記念式典を挙げる。（15 日）                  |
|              | 窓をアルミサッシに改修する。              |            | 閉校（31 日）                           |





## 「新生境小」のご隆盛を祈念して

那須烏山市長 大谷 範雄

那須烏山市立境小学校の閉校にあたりご挨拶を申し上げます。

昭和33年下境小と上境小が統合し、境小として創立、開校以来歴史・伝統に満ち溢れた小学校として君臨し、数多くの優秀有能な人材を輩出してまいりました。改めて境小学校関係各位に深甚なる敬意を表する次第でございます。

さて、平成20年度は、市政の羅針盤といえる「みんなの知恵と協働によるひかり輝くまちづくり」を基本理念とした総合計画がスタートします。

なかでも教育施策は、幼児教育、義務教育の高度化に向けて、市独自の政策を進めます。その一環が学力向上対策としてのサタデースクールや外国語教育や郷土教育の推進です。

そして、家庭教育も大切な分野です。「衣食足りて礼節を知る」という言葉があります。礼節や道徳は古くから尊重されてきた日本人の心です。それを取り戻すためには、家庭教育を重視することがなにより必要です。

さらに、子どもたちが自然に関心を持ち、自然を守る活動につなげていける教育にも力を入れます。

おわりに、閉校となります境小学校に別れを告げ、「新生境小学校」のご隆盛並びに境地区のご繁栄を心から祈念いたしまして閉校にあたりましてのご挨拶といたします。



## 境小学校の閉校に寄せて

那須烏山市教育長 池澤 進

明治6年に下境小として始まり、上境小と統合して創設された境小が新たな歴史を刻もうとしています。東小と統合し、4月は新生境小の幕開けです。その陰で約50年の風雪に耐えた現校舎はひっそりと役目を終えようとしています。

流れ豊かな那珂川を眼下に望む学び舎は、今や市内唯一・全国でも珍しい木造を誇り、八溝のふもと・校庭東斜面にはPTA労力奉仕で築かれたジャンボすべり台。ここに遊び学んだ卒業生の力強く伸び伸びとした活躍は、温もり溢れる学び舎と地域がはぐくんだ賜物です。

時代の趨勢とは申せ、学校統合は地域にとって苦渋の選択であります。しかし、本校の保護者・地域住民は、新生境小創設を英断なさいました。皆さんの思慮深い決断に心より敬意を表します。“ゆかしい”学び舎に、郷愁の念・惜別の念は消えませんが、その歴史・伝統は、新たな境地区のシンボル境小で一層醸成されることと確信いたします。

結びに、今日までの間、本校を支えてくださった関係者の皆様に深く感謝申し上げ、また、今後の境小へのご支援をお願いするとともに、さらなる境地区の発展を祈念申し上げ、寄稿とさせていただきます。





## 閉校によせて

境地区代表自治会長 松本 武

上境・下境・小原沢の先人たちは子弟教育の場を那珂川の丘陵に求め、明治6年5月に下境の小学校として成美学舎が持福院に創立されました。翌年には上境の学校が宝幢院に創立され、同39年旧境中学校の地に移設されました。そして昭和33年、下境小学校と上境小学校が統合し、今の「境小学校」が現在の地に開校したのです。

それから50年、体育館・プール等の設置、保護者や地域の人たちの労力奉仕による校庭や遊具の整備等、勉学の間としての環境も整い、多くの優秀な子どもたちが卒業していったことは嬉しい限りです。

しかし、残念なことに行政改革により境小と東小が統合し、平成20年4月新しい小学校の開校の運びとなりました。わたしは境地区統合小学校校名選定委員長として、各団体の代表者と話し合いを重ね、新小学校の校名を『境小学校』と採決答申しました。「教育と地域づくりに情熱を注いできた境地区のシンボルとなる学校であり、地域全体の総称としてなじみ深い【境】を冠することが妥当」というのが校名決定の主な理由です。

ぬくもりある木造校舎の境小学校がなくなるのは寂しい感じがしますが、新生境小学校の新しい学舎で、のびのびと元気な児童が育っていくことを願っています。



## ありがとう木造の学舎

PTA会長 大森 直人

何事も終わりは寂しいものであります。

様々な思い出と多くの卒業生を送り出した境小学校も今年度をもって49年間の歴史に幕を閉じようとしています。時勢の流れとはいえ本当に寂しい限りです。

境小といえば木造2階造りの校舎が自慢で私が卒業した30年前とほとんど変わることのない顔で子どもたちを迎えてくれました。

今の世の中に効率性や合理性といったものが優先され、本当に大切なものが消えてゆく中、ここにはぬくもりや温かみといった大切なものがありました。半世紀にわたって磨き続けられた教室や廊下、そして多くの児童が楽しんだジャンボすべり台などここにしかないものがたくさんありました。児童たちはこの恵まれた環境の中でのびのびと生活し、大きく成長してきました。

また境小はこの地区のシンボルとして運動会・クラブ活動・防犯活動など地域の皆様のご協力をいただきながら共に歩んできました。

今回の統合により小学校は下境地区から上境地区へと移るわけですが境地区に残る小学校として今まで以上に温かく見守っていただきたいと思います。

最後に閉校まで境小を支えてくださいました教職員・保護者・学校関係者そして地域の皆様に深く感謝申し上げます。ありがとう境小学校。





## むらの誇り

校長  
久保田 久男

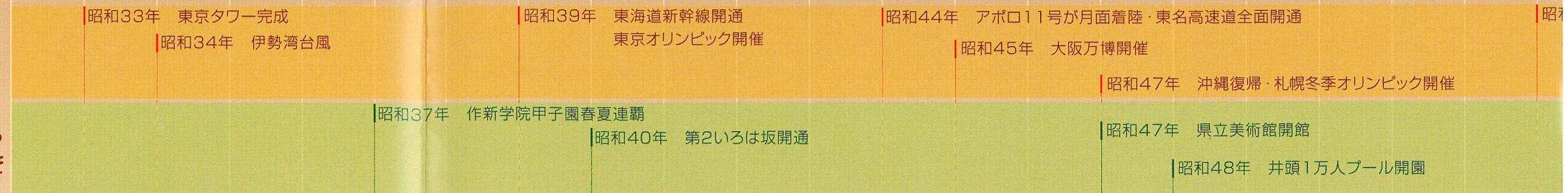
昭和33年10月、今から半世紀前に町立境小はその歴史をさざみ始めました。まだ困難な時代の、それは新しい希望であったと思います。

境小は、明治の初めに上境小、下境小として産声をあげた二つの学校が合併してできた学校です。その歴史を調べてみると、校舎ができるまでの間は、旧境中といまの保育園の所と、別々に勉強するという名目統合だったことがわかります。

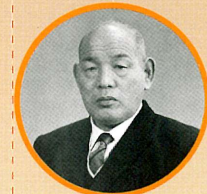
校長室の耐火書庫に「わが学舎」という昭和53年当時のスクラップがあります。そこには小原沢分校に給食のパンを届ける校長先生、教頭先生のことや、峠をこえ宿直に行く男の先生の記事がありました。また、今でも子どもたちのいちばん人気のジャンボすべり台、その他多くの遊具の設置や樹木の植栽が、地域住民のご寄付並びに保護者の労力奉仕によってなされたとあります。別史料には、変色したわら半紙にプール開きや体育館どん帳等への寄付が記されておりました。まさにタイトルにあるが如く「わが学舎」として生まれ育ち、巣立つ児童は1,860名を数えます。ただ単に、木造校舎だから懐かしいというのではなく、境小という学校がこの半世紀、地域の方々と一緒になって存在してきたということを証明しておりました。連綿と受け継がれてきた郷土愛にささえられて育てられてまいったわが学舎、それが境小学校でありました。

明治に源を発し、この平成の世に再出発をする学舎が、末永く人材を輩出し続けることを希望してやみません。これまでの長きにわたり、ご支援ご指導を賜りました大勢の関係各位に深甚なる感謝の意を表し、あいさつとさせていただきます。

## 日本の動き 栃木県の動き



初代校長  
安藤 秀男



2代校長  
増淵 正



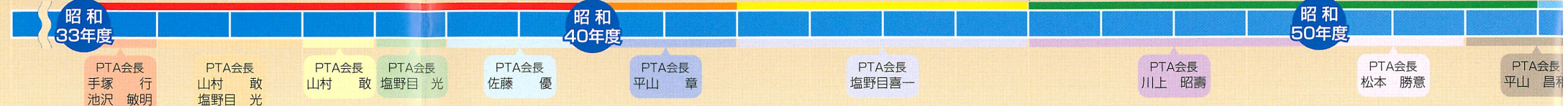
3代校長  
秋葉 喜兵



4代校長  
相馬 恒男



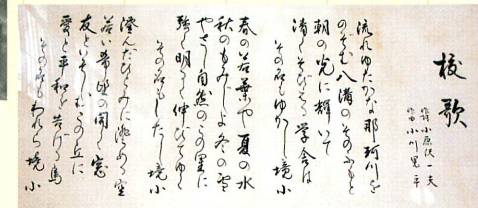
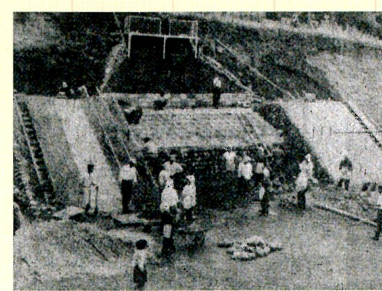
5代校長  
生井 幸夫



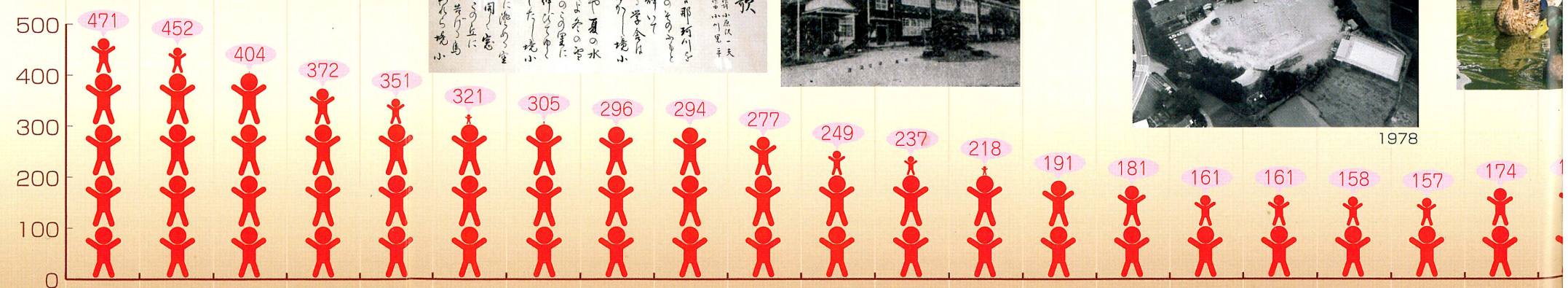
## 境小学校のあゆみ

年度 主な出来事

- |      |                                   |                                                |                                     |           |                          |                                                                         |       |                       |                         |                |                         |                         |               |                        |                               |                           |           |                               |                       |                                                    |            |                  |              |            |
|------|-----------------------------------|------------------------------------------------|-------------------------------------|-----------|--------------------------|-------------------------------------------------------------------------|-------|-----------------------|-------------------------|----------------|-------------------------|-------------------------|---------------|------------------------|-------------------------------|---------------------------|-----------|-------------------------------|-----------------------|----------------------------------------------------|------------|------------------|--------------|------------|
| 明治6年 | 明治7年                              | 昭和33年                                          | 昭和34年                               | 昭和35年     | 昭和36年                    | 昭和37年                                                                   | 昭和38年 | 昭和39年                 | 昭和40年                   | 昭和41年          | 昭和42年                   | 昭和43年                   | 昭和44年         | 昭和45年                  | 昭和46年                         | 昭和47年                     | 昭和48年     | 昭和49年                         | 昭和50年                 | 昭和51年                                              | 昭和52年      | 昭和53年            |              |            |
|      | ・上境小学校が創立する<br>・下境小学校が成美学校として創立する | ・東校舎(12教室)が完成する<br>・下境小学校と上境小学校を統合し烏山町立境小学校となる | ・下境小学校東校舎を解体移築し、境小学校西校舎として職員室等が完成する | ・完全給食が始まる | ・知事より「子ども銀行」の模範として表彰を受ける | ・校旗が大木清氏より寄附される<br>・国旗掲揚塔が平野哲衛氏より寄附される<br>・校章・校歌が決まる<br>・池が生井清一氏より寄附される |       | ・烏山町教育委員会よりPTAが表彰を受ける | ・屋外掲示板が初代校長安藤秀男氏より寄附される | ・校庭を整備し遊具を設置する | ・校庭西側の土手の緑化がPTAによって行われる | ・校舎裏にスケート場がPTAによって設置される | ・はん登棒16本を設置する | ・県学校緑化コンクールにおいて努力賞を受ける | ・日本学校歯科医協会会長より「よい歯の学校」の表彰を受ける | ・玄関前に築山を造成する<br>・プールが完成する | ・体育館が完成する | ・日本学校歯科医協会会長より「よい歯の学校」の表彰を受ける | ・知事より「優良子ども銀行」の表彰を受ける | ・県教育長より「学校給食優良校」の表彰を受ける<br>・県教育委員会より「優良PTA」の表彰を受ける | ・学校が無人化となる | ・統計教育研究学校の指定を受ける | ・体育館に物置を設置する | ・アヒルを飼いはじめ |



## 児童数の推移



1978

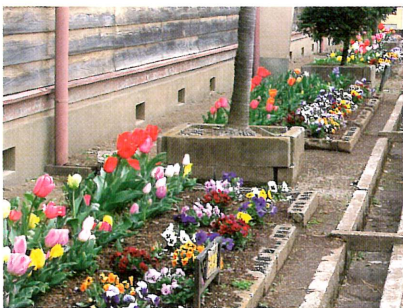






いつまでも心の中に 境っ子みんなの思い出

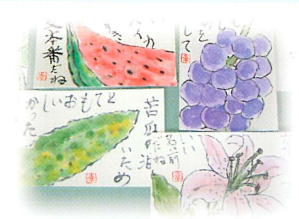
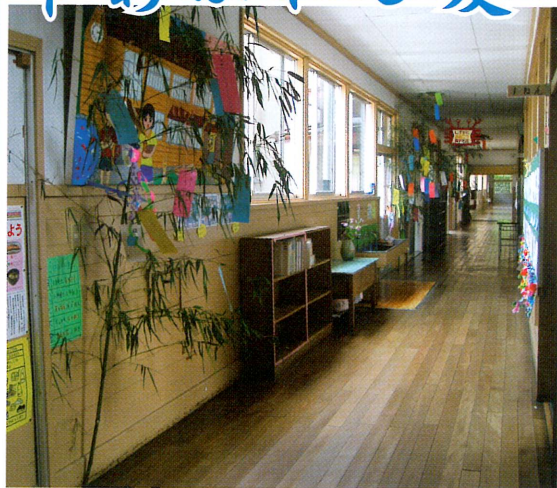
# 希望の春





いつまでも心の中に 境っ子みんなの思い出

# 命あふれる夏





いつまでも心の中に 境っ子みんなの思い出

# 実りの秋





いつまでも心の中に 境っ子みんなの思い出



# そなえ発っ冬





木造校舎の思い出は忘れません









## 校歌

作詞 小原澤一夫  
作曲 小川 晃平

1 流れゆたかな那珂川を  
のぞむ八溝のそのふもと  
朝の光にかがやいて  
きよくそびえる学舎は  
その名もゆかし境小

2 春の若葉や夏の水  
秋のもみじよ冬の雪  
やさし自然のこの里に  
つよく明るく伸びてゆく  
その名もしたし境小

3 澄んだひとみに澄める空  
若い希望の開く窓  
友といそしむこの丘に  
愛と平和を告げる鳥  
その名もわれら境小

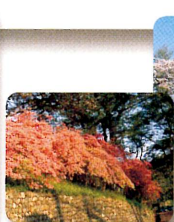
平成20年3月 閉校記念 那須烏山市立境小学校



春



夏



# 木造校舎にありがとう

秋



冬

